

1/21 橘フキさん 100 歳顕彰

前向きな性格が元気の秘けつ

橘フキさんが、めでたく 100 歳の誕生日を迎え、老健ほほえみ三戸で顕彰が行われました。フキさんは別室からオンラインで参加し、フキさんの娘・陽子さんと孫・真樹さんが代理で松尾和彦町長から顕彰状と祝い金、記念品を受け取りました。

フキさんは、大正 12 年 1 月 21 日に秋田県で生まれました。相撲が大好きで、時間になると必ず番組を見て応援しています。特技は習字で、施設の行事では自慢の達筆を披露しています。陽子さんは「強い気持ちを持っていて、とても前向きな性格です。ストレスを溜めないことで、今も元気でいられるのだと思います」と、フキさんの元気の秘けつについて話しました。



(左から) 陽子さん、真樹さん、フキさん (タブレット画面)、松尾町長



▲フキさん



(左から) 松尾町長、勇三さん

1/23 大平はよさん 100 歳顕彰

好き嫌いなく食べることが元気の秘けつ

大平はよさんが、めでたく 100 歳の誕生日を迎えました。はよさんの甥の息子である大平勇三さんが役場を訪れ、松尾和彦町長から顕彰状と祝い金、記念品を受け取りました。

はよさんは、大正 12 年 1 月 23 日に三戸町貝守で生まれました。現在はグループホームひまわりに入所しています。若い頃から県外で就職し、関東での生活が長かったためか、施設職員の方言が聞き取れないこともあるようです。猫が好きで、猫の特集番組を楽しみにしています。勇三さんは「人の苦勞が分かる優しく思いやりのある人です。採ってきた山菜など旬な食材をよく食べていて、好き嫌いなく何でも食べるところが元気の秘けつです」と笑顔で話しました。



▲はよさん

2/14 瀧川ハヨさん 100 歳顕彰

毎日笑顔で、元気に過ごします

瀧川ハヨさんが、めでたく 100 歳の誕生日を迎えました。特別養護老人ホーム鶴亀荘で顕彰が行われ、ハヨさんは松尾和彦町長から顕彰状と祝い金、記念品を受け取りました。

ハヨさんは、大正 12 年 2 月 14 日に岩手県で生まれました。23 歳のとき夫の義雄さんと結婚し、夫婦で農家を営んでいました。昔から穏やかな性格で、現在も施設職員や入所者にいつも優しく接しており、現在は「好き嫌いなく何でも食べて、毎日笑顔で過ごすこと」を意識して生活しています。

ハヨさんは「長生きできてうれしい。長い間、農作業に励んで体力をつけてきたおかげです」と元気の秘けつについて話しました。



ハヨさん (手前中央)、松尾町長 (奥右) と親族の皆さん



▲ハヨさん

1/20 NOSAI 青森が町に感謝状を贈呈

農家を補助するため、制度の周知に尽力

町は、農業の安定した生産活動および農業経営を目的として、農業経営収入保険の加入促進を図るため、保険料の一部を 25%（上限 7 万円）で補助する事業を今年度から実施しています。青森県農業共済組合（中山竹千代組合長理事）は、この取り組みに対し感謝の意を込め、松尾和彦町長に感謝状を贈呈しました。

中山組合長理事は「保険に加入することで、助けられる農家もいます。これからも制度の周知に協力していただきたい」と話しました。松尾町長は「今の時代、災害がなくても価格の低下は起きかねない。制度が根付くよう、これからも町で支援していきたい」と力を込めました。



（左から）中山組合長理事、松尾町長



防災について話し合う参加者の皆さん

1/21 三戸町まちづくり人財塾（第 4 回講座）

ワークショップで進行役を体験

ジョイワーク三戸で、話し合いをする際の進行役（ファシリテーター）を育成する三戸町まちづくり人財塾が行われ、約 40 人が参加しました。青森大学社会学部教授および早稲田大学マニフェスト研究所招聘研究員の佐藤淳さんをアドバイザーに迎え「町の防災について考えよう！」をテーマにワークショップを実施。第 1 回から受講していた立花香平さん、越後宏司さん、五十嵐淳さんが進行役を務め、参加者は町の防災について気になる点や改善策などを話し合いました。

進行役を務めた立花さんは「さまざまな話し合いの手法を学ぶことができました。話すことだけでなく、聞くことも大切なのだと感じました」と感想を話しました。

1/21 さんのへ農業小学校第 12 期生卒業式

多くの体験から、食の大切さを学ぶ

さんのへ農業小学校第 12 期生の卒業式が三戸町中央公民館で行われ、19 人の児童が卒業しました。子どもたちは、収穫や販売などを体験し、農業を通じて食の大切さなどを学びました。

栗生正志校長は「農業小学校で体験したことを忘れずに、これからもがんばってください」と式辞を述べ、卒業を祝いました。子どもたちは「販売体験でたくさんもち米が売れてうれしかった」「サツマイモがたくさん収穫できて楽しかった」など、それぞれの思い出を語り、大きく成長したようです。



思い出を語る子どもたち



感謝状贈呈のようす

1/25 三戸警察署が感謝状を贈呈

警察協力者に対し、感謝の意を込めて

三戸警察署は、警察協力者 6 団体 8 個人に対し、感謝状贈呈式を行いました。受賞団体、個人は以下のとおり（敬称略。公表を希望しない団体を除く）。

▶ 年間協力功労団体 三戸中央病院、八戸農協三戸営農センター、三戸町交通安全母の会連合会、田子町建設課、三戸地区交通指導隊名川支隊 ▶ 年間協力功労者 浅木正弘、中村敬一、谷坂拓美、留目宏、竹林武志、村木義規、大羽澤正、坂上義明

2/1 文化財防火訓練

防火意識の向上を図る

1月26日の文化財防火デーに合わせ、国史跡三戸城跡城山公園内の三戸町立歴史民俗資料館で文化財防火訓練が行われました。訓練には、資料館職員や町文化財審議委員など約10人が参加。館内電気配線からの漏電により出火した想定で、三戸消防署員立ち会いの下、119番通報や文化財の持ち出しと避難誘導訓練、消火器の使用訓練などが行われました。資料館職員は「今日の訓練を忘れず、日頃から火災には気をつけていきたい」と話しました。



文化財持ち出し訓練を行う資料館職員



抽選会場のようす

2/4 三戸名物元祖まける日

町のお得で楽しい「まける日」大盛況

町の伝統行事である、三戸名物元祖まける日が開催されました。当日のお買い物レシート合計金額3,000円分ごとにつき1回挑戦できる「レシートラリー福引抽選会」が役場1階で実施されました。開始から多くの人々が抽選会場に詰めかけ、用意された約1,200本の景品が午前中でなくなるほどの好評ぶりでした。

そのほか、まける日の歴史を巡る街歩きや11ぴきのねこと一緒に写真が撮れる撮影会、町内各所に設置されたケータリングカーなどが、町内外の人たちを楽しませました。

2/7 坂本喜美さんが青森県褒賞を受賞

町の福祉・民生の発展に尽力

坂本さんは、公共の福祉の増進に功労のあった個人に授与される「青森県褒賞」を受賞しました。その功績を称えるため、松尾和彦町長が特別養護老人ホーム鶴亀荘を訪れ、褒状を手渡しました。坂本さんは、昭和61年12月から平成28年4月までの29年5カ月、民生委員児童委員として地域の福祉向上に貢献しました。そのほか、町民生委員児童委員協議会副会長や町社会福祉協議会評議員、町赤十字奉仕団副委員長など多くの要職に就き、地域の民生発展に貢献しました。

坂本さんは「このようなすばらしい賞をいただけたことに感謝しています。今までがんばってきて良かった」と喜びを表しました。



(左から) 坂本さん、松尾町長



生徒たちの立志宣言

2/10 三戸中学校立春式

夢の実現に向かって努力を誓う

小中一貫三戸学園三戸中学校（小林孝史校長）8年生60人が14歳立春式を迎えました。三戸町14歳立春式は、8年生が14歳を迎えるにあたって、これまでの成長と今後の健やかな成長を願うとともに、生徒が自己を見つめ直し、社会の一員としての自覚を高めることを目的として行われています。立志宣言では、一人ひとりが決意の言葉を述べ、夢の実現に向けて、努力することを誓いました。